



グローバル通信5月号

外務省地方連携推進室

第195号 令和7年5月

外務省地方連携推進室
運営ホームページ

[グローバル外交ネット](#)を
ご覧下さい!!



外務大臣及び長野県知事共催レセプションの開催



岩屋大臣の挨拶



阿部長野県知事とともにSDGsの
取組紹介ブースを視察する岩屋大臣



長野県PRキャラクター「アルクマ」と記念撮影

3 月18日、外務省飯倉公館において、外務大臣及び長野県知事共催レセプション「山岳高原リゾートNAGANO 美しい山岳と清らかな水」を実施し、駐日外交団他約210名が参加しました。長野県の観光、食品、伝統工芸品、健康長寿等に関する取組を紹介する様々なブースを設けるとともに、ステージでは蕎麦打ちの実演及び戸隠流忍者のパフォーマンスを行い、長野県の多様な魅力をPRしました。

[【外務大臣及び長野県知事共催レセプションの開催】の詳細](#)



「第65回コスキン・フォークローレ・フェスティバル」
開会式の様子

日本人移住の歴史、音楽が紡ぐ都市間交流（福島県川俣町・コルドバ州コスキン市）



カルディナリ市長はじめコスキン市関係者と音楽祭の会場にて



川俣町代表団の在アルゼンチン日本国大使館訪問

福 島県川俣町とアルゼンチン・コスキン市が、2024年に姉妹都市となりました。一見遠く離れたこの2つの町を結んだのは、移住の歴史と「フォークローレ音楽」。中南米を代表する音楽祭に日本代表が参加し、観客全員が「ありがとう」と一礼する場面も。2026年の日本人移住140周年に向け、深まる友情と文化の交流を本稿にて紹介します。

[【日本人移住の歴史、音楽が紡ぐ都市間交流（福島県川俣町・コルドバ州コスキン市）】の詳細](#)

三島村とギニア～「次の世代」の交流に向けて～



三島村の子どもたちにジャンベを教えるママディ氏



ママディ氏の墓前に立つ同氏のご子息と筆者



大山三島村長、カマラ駐日ギニア大使らと共に

世 界的なジャンベ（太鼓）奏者であるママディ・ケイタ氏の呼びかけから始まった、鹿児島県三島村とギニアの交流。約30年に渡るジャンベをはじめとした両地域の交流の歩みと、「次の世代」の交流に向けた動きを、三島村を訪問した加藤駐ギニア大使が紹介します。

[【三島村とギニア～「次の世代」の交流に向けて～】の詳細](#)

青森の食と観光の魅力をPR シンガポールにてレセプションを開催



青森県産食材メニュー試食の様子



青森県郷土芸能(手踊り)の様子



レセプション終了後の集合写真

多世代がともに生きる地域づくり ～差別・偏見のない地域をめざして～



マレーシアの子供たちと交流する奥理事長



多世代交流拠点『みんなのいえカラフル』の外観



『みんなのいえカラフル』での昼食タイム

青

森県は12月11日、東南アジア市場における県産農林水産品の輸出促進の取組として、在シンガポール日本国大使館との共催で「青森の食と観光レセプション」を開催しました。当日は、りんごやコメ、マグロなどの農林水産品のほか、夏のねぶた祭りや冬の八甲田など青森の観光について紹介し、青森の食と観光の魅力をPRしました。本稿ではその模様をお知らせします。



[【青森の食と観光の魅力をPR シンガポールにてレセプションを開催】の詳細](#)

大

分県竹田市にあるNPO法人「Teto Company」
おく ゆいか
の奥 結香理事長は、「JICA海外協力隊」に参加しマレーシアにて障害児・者支援隊員として活動し帰国した後は、大分県竹田市の「地域おこし協力隊」として多世代交流拠点『みんなのいえカラフル』を開所。ひとりぼっちをつくらない社会づくりを目指し、療育やデイサービス事業、大学生と地域子どもたちが遊ぶイベント等も運営しています。奥理事長に「JICA協力隊」と「地域おこし協力隊」として活動してこられたご経験、そして現在大分県で活動されているNPO法人のお仕事、さらには日本の地方創生を見据えた今後の活動についてお話いただきました。

[【多世代がともに生きる地域づくり～差別・偏見のない地域をめざして～】の詳細](#)

◇◇◇◇◇ 地方連携推進室から ◇◇◇◇◇

・新井外交実務研修員からの寄稿

[寄稿の詳細](#)

次回配信は2025年6月2日の予定です。グローバル通信に是非ご登録ください
登録は[メールマガジン「グローバル通信」](#)より「メールアドレスの登録」をクリック！
ご意見やご質問は gaimu-renkei@mofa.go.jp までお願いいたします。

